

# ・ 今後の展望と取り組み

---

## - ・ 経営環境および施策

---

# 【 一 . 経営環境および施策】



## 1 . 京王グループを取り巻く環境と今後の取り組み

### 京王グループを取り巻く環境

少子高齢化の進行

消費の多様化

鉄道沿線が選ばれる時代

### 今後の取り組み

鉄道事業における、  
さらなる信頼性の向上

沿線拠点開発の推進

グループ事業競争力の強化

沿線価値の向上

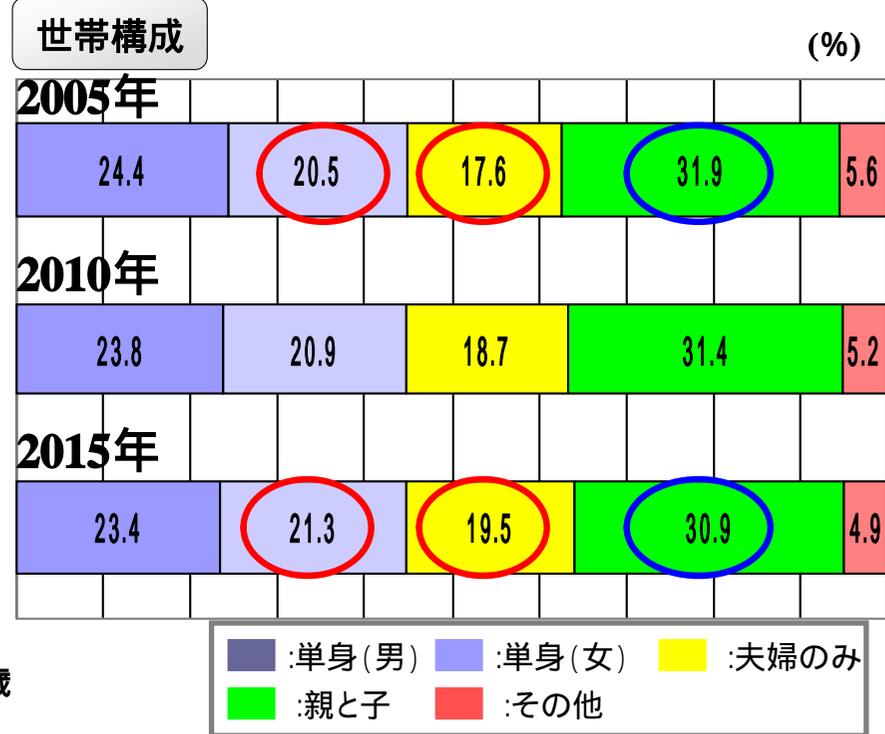
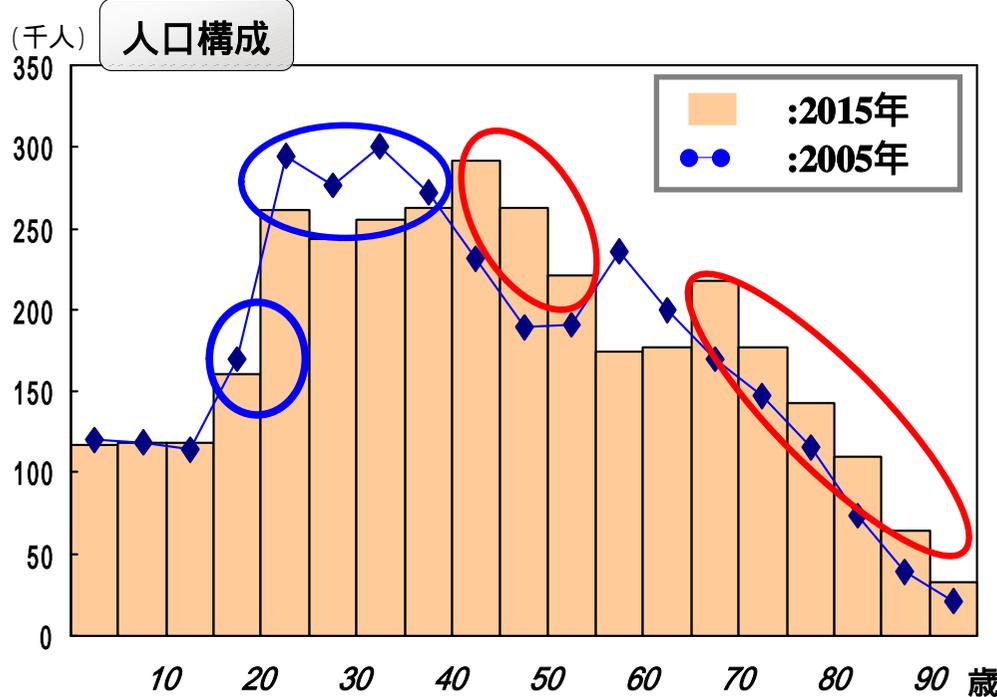
経営体制の整備と  
地域社会への貢献

# 【 一 . 経営環境および施策】



## 2 . 京王グループを取り巻く環境 少子高齢化の進行 / 消費の多様化

(出典:東京都総務局「東京都人口の予測」より)



〔10年後の人口構成〕  
 人口が増加する世代(40～54歳) 団塊ジュニア  
 (65歳～) 団塊世代  
 人口が減少する世代(15～39歳) 学生・ニューファミリー

〔10年後の世帯構成〕  
 「夫婦のみ」と「女性の単身者」世帯が増加  
 「親と子のファミリー」世帯が減少

# 【 一 . 経営環境および施策】

## 2 . 京王グループを取り巻く環境 鉄道事業のこれまでの取り組み



「特定都市鉄道整備事業」による輸送力増強工事 1997年に完了

- ・京王線長編成化工事:朝間ラッシュ時間帯で全列車30本を10両編成運転
- ・井の頭線車両大型化工事:大型の20m車両導入、朝間ラッシュ時間帯30本運転

輸送力増強	ダイヤ改定(スピードアップや乗継改善などによる速達性向上。朝・夕間ラッシュや深夜時間帯での運転本数増や、朝ラッシュ時間帯における急行系列車の増発および井の頭線における大型車両の継続投入などによる混雑の緩和)
	高幡不動車両基地改良による車両収容能力の拡大
安全性の向上	災害対策(地震、雪害、雷害、テロ)
	ホーム安全対策 (全駅にホーム下ステップまたはホーム下退避スペースを設置。全駅にホーム非常通報ボタンを設置。車両とホームの間隔が広がる箇所に間隙注意灯や転落検知装置を設置 他)
	急曲線低速走行時の安全対策 (半径300m以下の曲線に脱線防止ガードレールを設置済みであったが、さらに当社独自の対策として車両基地内の低速急曲線部にもガードレールを設置、輪重測定装置導入)
	踏切安全対策 (車両が通行する全ての踏切において、踏切障害物検知装置または踏切支障報知装置を設置しているほか、車歩道の分離を図るため歩道部のカラー舗装化を完了)
	調布駅付近連続立体化事業に着手
バリアフリー化 サービス向上	エレベーターの設置(一日平均乗降人員が5,000人以上の駅の60%で段差解消を達成) だれでもトイレ(約80%の駅で整備完了)
	ホーム待合室(対象となる駅の約70%の駅で設置完了)
環境対策	VVVFインバーター制御装置を搭載した省エネルギー型車両の新造および既存車両の改造 (全車両の約50%にVVVFインバーター制御装置を搭載)



設備投資の重点は、安全性やサービス向上にシフト

# 【 一 . 経営環境および施策】

## 3 . 今後の取り組み

### 鉄道事業における、さらなる信頼性の向上



#### さらなる安全性の向上

従業員教育の充実など、安全管理体制をさらに強化する。

自動列車制御装置(ATC)の導入による信号システムの抜本的改良を行う。

新宿駅・幡ヶ谷駅などで地下駅火災対策を推進する。 (2008年度完成)

高架橋など構造物の耐震性向上策を継続的に進める。

調布駅付近連続立体交差事業を推進する。 (2012年度完成)

笹塚駅以西のボトルネック踏切解消のため、鉄道立体化の早期事業化に向けて、関係機関との協議を積極的に進める。

#### バリアフリー化・サービス向上

自由通路を備えた橋上駅舎化などによる駅施設のバリアフリー化(エレベーター設置、だれでもトイレ設置ほか)を進める。 (2010年度目標)

車両新造・改造によりバリアフリー化(車内電光表示板・ドアチャイムほか)を進める。

関東地区の電車・バスと共通のICカード乗車券「PASMO」を導入する。 (2007年3月)

#### 環境対策

車両の新造・改造により省エネルギー化をはかる。

# 【 一 . 経営環境および施策】

## 3 . 今後の取り組み

### 鉄道事業における、さらなる信頼性の向上



#### 2006年度重点施策

- <さらなる安全性の向上>
  - ・安全管理体制の強化
  - ・自動列車制御装置(ATC)による信号システム改良に着手
  - ・新宿駅・幡ヶ谷駅などにおける地下駅火災対策の推進
  - ・構造物の耐震性向上の継続的实施
- <大規模改良工事の推進>
  - ・調布駅付近連続立体交差事業: 事業区間全域における工事の進行、国領駅・布田駅で仮橋上駅舎化に着手
  - ・高幡不動駅における橋上駅舎化工事の完成、桜上水駅や西永福駅でバリアフリー化・自由通路新設などのための橋上駅舎化工事に着手
- <バリアフリー化の推進>
  - ・エレベーター 新設7駅、増設1駅
  - ・だれでもトイレ 2駅に整備
- <旅客サービスの向上>
  - ・エスカレーター 2駅新設、2駅増設
  - ・ホーム待合室 2駅に設置
- <車両新造・改造> 新造30両(京王線9000系)、バリアフリー化・省エネルギー化のための改造24両(京王線7000系)
- <共通ICカード乗車券「PASMO」導入> 2007年3月利用開始

調布駅付近連続立体交差事業は、事業主体の東京都が道路整備として実施する国土交通省の国庫補助事業です。

エレベーター設置は、国や地方自治体からの補助を活用します。

# 【 一 . 経営環境および施策】



## 3 . 今後の取り組み

### 沿線拠点開発の推進 / グループ事業競争力の強化

#### 沿線拠点開発の推進

新宿、吉祥寺などの沿線拠点駅周辺地区において、将来構想の検討を行う。

聖蹟桜ヶ丘地区全体の再整備計画の策定を検討する。

#### グループ事業競争力の強化

食品スーパーや駅周辺で展開する生活関連事業の強化・拡大をはかる。

既存事業の延長線上にあり、お客様のニーズが見込まれる事業分野については、事業化に向けた取り組みを行う。

市場調査・分析等に基づいて、沿線地域におけるグループの業容拡大をはかる。

#### 2006年度重点施策

< 定期借地権分譲マンション「トラスティア北野」の販売 >

土地の借地期間:61年、竣工・引渡し:2007年3月(予定)、住戸数:127戸

< グループの事業機会の創出 > 京王リトナード(稲城、八幡山)、フレンテ明大前、京王高幡ショッピングセンター(第2期)

< 新規出店 > 「京王ストア」(2店舗)、「啓文堂書店」(3店舗)、「カレーショップ C & C」(2店舗) 等

< 既存店舗の改装 > 「京王百貨店」(新宿店) 等

# 【 一 . 経営環境および施策】



## 3 . 今後の取り組み 沿線価値の向上

### 沿線価値の向上

駅舎の橋上化など、利便性の高い街づくりに寄与する。

沿線のお客様のニーズに応える、きめ細やかな生活サービスの提供を進める。

沿線自治体や大学等との連携の強化にも取り組む。

### 2006年度重点施策

< 駅改良 > 高幡不動駅改良の完成(橋上駅舎への切替、南北自由通路の新設、多摩モノレールとの乗換通路の新設)

西永福駅改良、桜上水駅改良に着手

< 賃貸デザイナーズマンション「Hi - ROOMS」の展開 >

< 沿線地区での生活サービスの立ち上げ >

< 沿線ポータルサイトの構築に着手 >

駅改良は、国や地方自治体からの補助を受けて実施します。

# 【 一 . 経営環境および施策】



## 3 . 今後の取り組み 経営体制の整備と地域社会への貢献

### 経営体制の整備と地域社会への貢献

「鉄道事業における、さらなる信頼性の向上」「沿線拠点開発の推進」「グループ事業競争力の強化」「沿線価値の向上」等の施策を実行するため、経営体制の整備や組織の見直し、人材の育成を行う。

内部統制システムの確立や社外役員による経営の監督機能の充実など  
コーポレート・ガバナンスの強化に取り組む。

環境経営への取り組みを推進する。

### 2006年度重点施策

- < 継続雇用制度の制定、事業所内託児所の開設 等 >
- < 新会社法への対応 >
- < 財務報告に係る内部統制の有効性評価への対応 >
- < ディスクロージャー委員会の活動の推進 >
- < 法務機能の強化 >
- < グループ全体での環境経営の推進 >

# ・ 今後の展望と取り組み

---

## - ・ 2006年度の業績予想

---

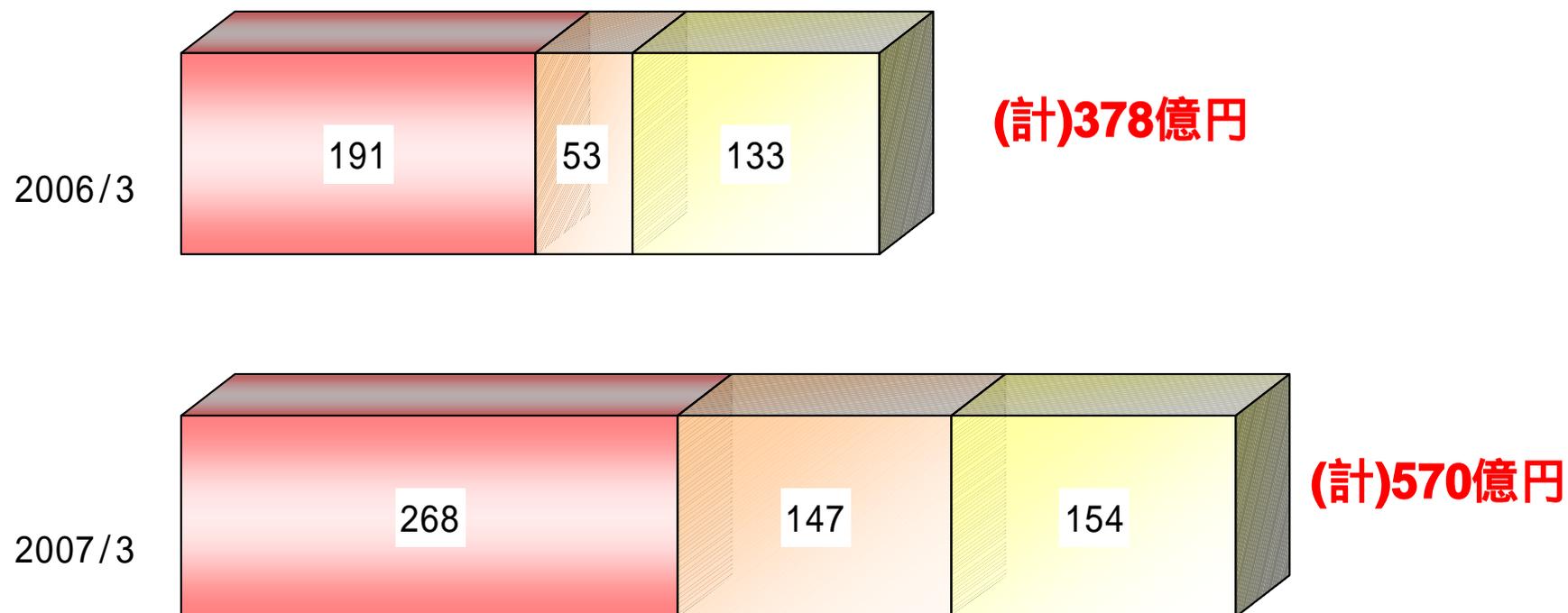
# 【 ー . 2006年度の業績予想】



## 1 . 連結資本的支出

単位:億円

■ 鉄道事業 ■ 鉄道事業以外(新規) ■ 鉄道事業以外(既存)

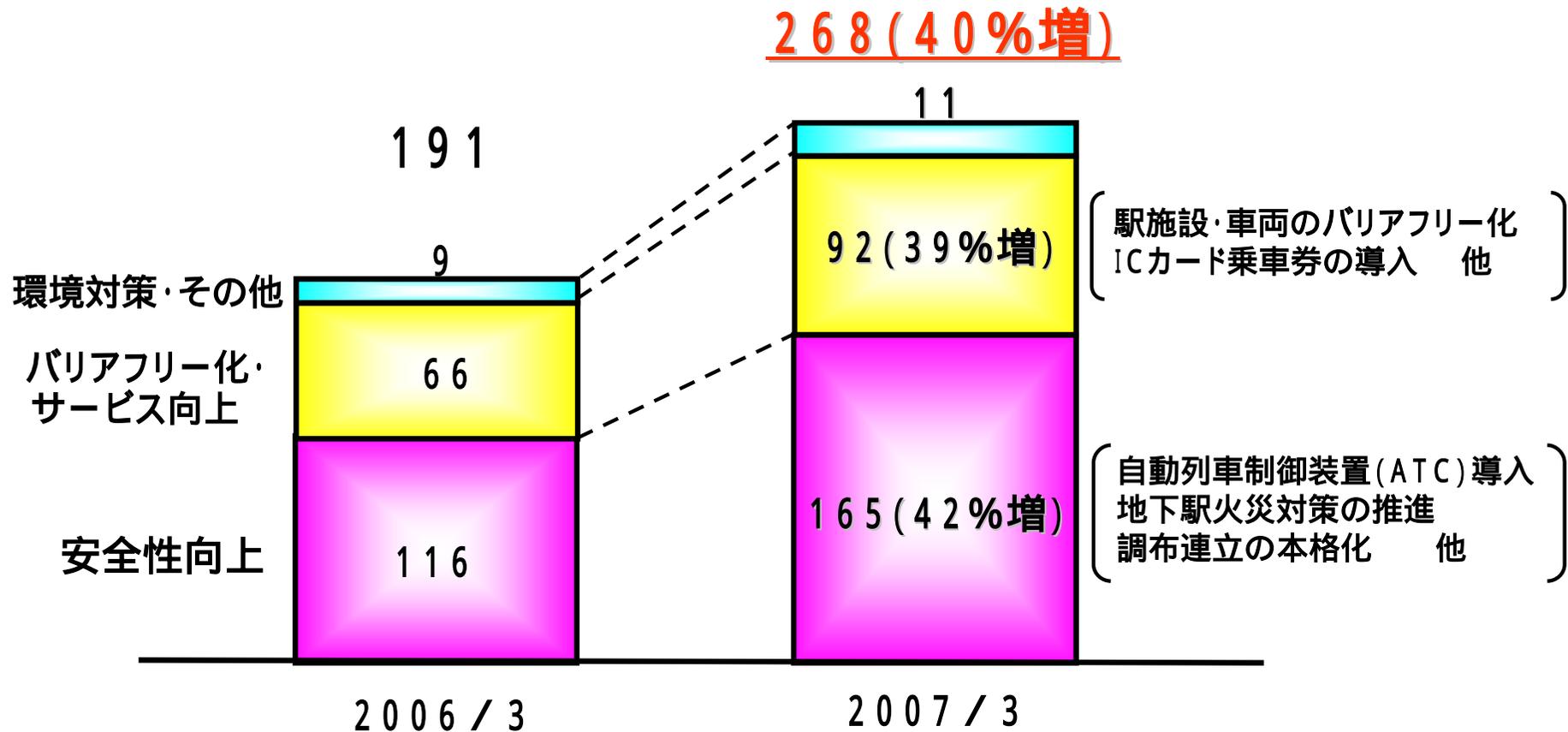


【 ー . 2006年度の業績予想】



# 1 . 連結資本的支出(鉄道事業)

単位:億円



【 一 . 2006年度の業績予想】



## 2 . 連結損益計算書

単位:億円

	2007/3	2006/3	増減額	増減率
				%
連結営業収益	4,234	4,382	148	3.4
連結営業利益	399	399	0	0.1
連結経常利益	365	363	1	0.4
連結当期純利益	198	198	0	0.3
連結E B I T D A	681	674	7	1.0

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他
(営業収益)	1億円	18億円	+ 21億円	126億円(*)	1億円
(営業利益)	0億円	6億円	0億円	+ 6億円	0億円

(\*)旅行業の一部で、売上計上方法を取扱収入計上から手数料収入計上に変更する。  
この変更により、143億円の減収を見込む。

【 一 . 2006年度の業績予想】



### 3 . 鉄道事業輸送人員

	2007/3	2006/3	増減	増減率
輸 送 人 員	千人	千人	千人	%
定 期	351,540	351,646	106	0.0
( 通 勤 )	260,077	259,551	526	0.2
( 通 学 )	91,463	92,095	632	0.7
定 期 外	255,343	254,769	574	0.2
合 計	606,883	606,415	468	0.1

1. このプレゼンテーション資料には、現時点の将来に関する前提・見通しに基づく予測が含まれております。実際の業績は、様々な要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。
2. 連結ROA、連結ROEは当社が内部管理に使用している指標であり、当社においては、決算期毎の数値の連続性を確保し、比較を行いやすくするため、以下のとおり算出しております。

・連結ROA = (経常利益 + 支払利息) ÷ 期首期末平均の総資産  
総資産にその他有価証券評価差額金とそれに関する繰延税金資産・負債を加減算することで、その他有価証券の時価評価の影響(損失として処理したものを除く)を排除しております。

・連結ROE = 当期純利益 ÷ 期首期末平均の株主資本  
株主資本にその他有価証券評価差額金を加減算しております。



**【連絡先】**

京王電鉄株式会社

総合企画本部 経理部

伊沢 辻本

PHONE : 042-337-3135

FAX : 042-337-5009